

スポーツ

川越

発行 川越市体育協会



川越市スポーツ少年団体育祭より

指導者組織の確立を

川越市スポーツ少年団

副本部長 天沼 忠一

近年、市の体育施設不足が問題にされているが、水上公園は完成し、運動公園の建設も始まっている等徐々にではあるが整備されつつある。

しかし、施設の確保はもちろんであるが、スポーツ少年団活動にとって子どもたちの指導にあたる指導者不足が当面の問題と言えよう。

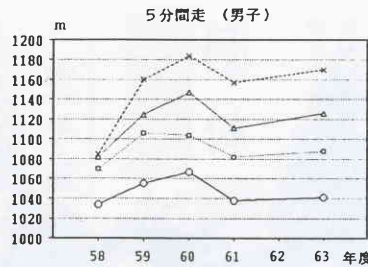
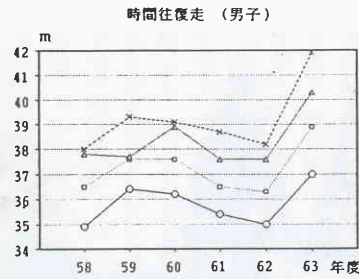
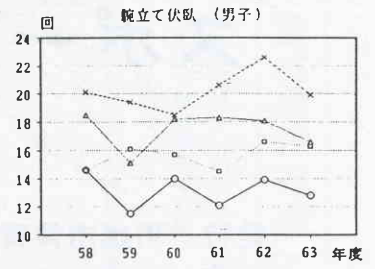
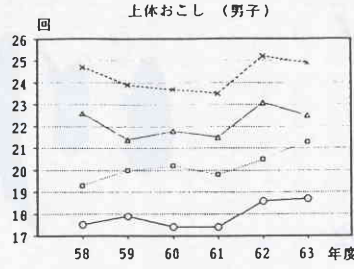
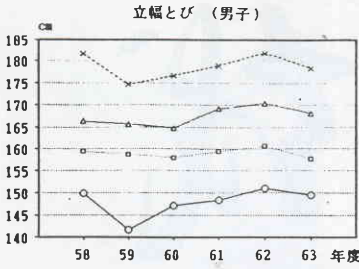
余暇時間の増大や社会体育の充実により、子どもたちのスポーツに親しむ時間が増し、少年団活動も活発化している反面、社会体育指導者としての資格を持つ子ども指導にあたる人たちが少ないのが残念である。

また、指導者という技能面を担当するコーチという認識が強かったが、子どもたちにスポーツを親しませるといふ観点からすると、正しい技術を身につけさせるとともに、健康な身体やスポーツマンシップを育成することに重点を置く指導が望まれ、指導者にも正しい理論にもとづいた指導のあり方が要求されている。

川越市スポーツ少年団では、指導者の資質の向上と認定指導員の育成に向け、各種の講習会や研修会を開催している。しかし、そこで資格を得た指導者も自分の子ども卒団とともに団活動から身をひくケースが多く、指導者不足が各団の悩みとなっている。

このようなことから、こうした有資格の指導者を毎年育成するとともに、豊かな経験を持った指導者が長く少年団活動を継続していく手だてを図っていききたいと思う。

市平均値の推移 — 6年間 — (○—8才 □—9才 △—10才 ×—11才)



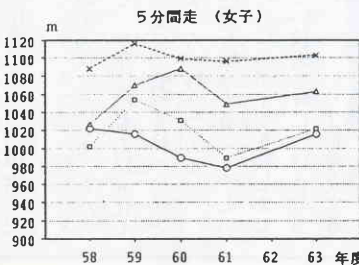
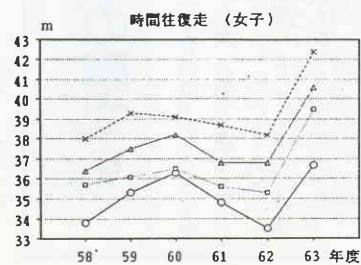
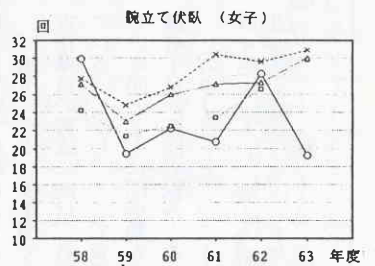
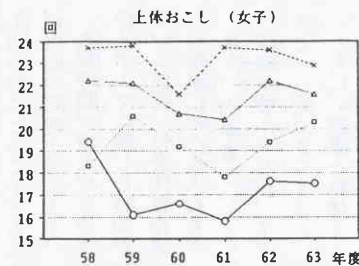
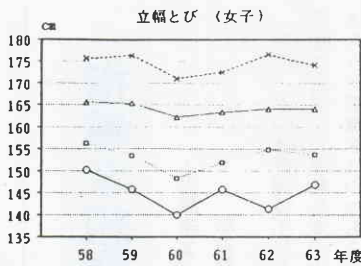
スポーツ少年団体力テスト

子どもたちの体力のよりよい発達をめざすためには、単位種目の団活動であっても、できるだけ多種の運動に親しませること。そして運動好きな子どもに育てていくことを目指したいものです。また体力づくりの基礎である走ることを、準備運動に必ずとり入れるとともに、柔軟性に富んだたくましい体の育成を図ることが大切です。

ここ数年の結果を比較してみると、市スポーツ少年団員の体力は全体的には横ばい状況にあり、大きな伸びはみられません。種目別にみても、腕立て伏臥、立幅とびの男子に低下のきざしがみえ、今後の各団での活動に工夫が必要と思われる。

川越市体育協会の専門委員会として創立し、十四年目を迎えた川越市スポーツ少年団も本年度は五五団三、三三〇名の団員数、四七五名の指導者をかかえる県下有数の組織となり、青少年の健全育成をめざしてスポーツ活動に励んでいます。

毎年、団員一人ひとりの体力の実態を把握するために、運動適性テスト(体力テスト)が行われ、昭和六三年度は、五月二日、市内四会場で二、一七六名の参加を得て実施されました。



樹水との 出会い



第 39 回 市民スキー講習会

二月三日から六日までの四日間
山形県蔵王温泉スキー場において
第39回市民スキー講習会が教育委
員会主催、スキー連盟主管で開催
されました。

十九才から六十才までと幅広い
層からの参加者は六十四名。役員、
講師を含め総勢七十五名が二台の
バスで川越を出発しました。

参加者の一人で市役所に勤務し
ている内山雅之さん(23)は、「バス
の駐車場から宿舎(大平ホテル)
までの道が遠くてたいへんでした
が、蔵王の雄大な自然の中でスキ
ーができたことや、講師の方に基
本から指導していただいたことな
ど、楽しい思い出がたくさんでき
ました。来年はぜひともバッチテ
ストに挑戦してみたいものです。」
と、意欲的に語っていました。

来シーズンも、一人でも多くの
方にウィンタースポーツの花・
「スキー」を楽しんでもらえるよ
う願っています。

おわりに、指導していただいた
皆様・関係各位に厚くお礼申し上
げます。



■スポーツ教室

健康で明るい豊かな生活を築く
一助として、各種のスポーツ教室
が開催されました。

今年度は、十四教室で七一七名
の参加がありました。婦人を対象
としたものが四種目、一般男女の
対象が四種目、親子で参加が一
種目、少年少女対象が五種目となっ
ています。

健康への関心が年毎に高まって
いますが、健康体力づくりのため
に、より多くの方が参加できるよ
う努めていきたいものです。



スポーツ講演会に 参加して ―障害を乗り越えた栄光への道―

三月十七日市民体育館でスポー
ツ講習会が開催されました。講師
はソウルパラリンピック78kg級以
下級優勝の実績をもつ牛窪多喜男
先生でした。

視力障害というハンデいを克服
し、健常者と対等ルールにて幾多
の試合に挑み、頂点であるパラリ
ンピック優勝に至るまでの先生の
講演は、感銘以外の何ものでもあ
りませんでした。自己の生活に、
常に何がしかの負荷をかけていく



ことにより、その負荷の消去時点
で極めて大きな開放感が得られる
という先生の生き方については、
信じられぬほどの行動力とバイタ
リティーを感じずにはいられませ
んでした。柔道をやっていて良か
ったと言う先生の言葉は、スポー
ツの快汗がピカピカと輝いており
ました。

七月十日、木原光知子先生の講
演「水は私のパートナー」、三浦
邦彦先生の軽スポーツ「ストレッ
チ体操」のテーマを掲げて、第七回
婦人スポーツの集いが開催されま
した。当日は、市長・教育長をはじ
め関係各位多数の出

第7回 婦人スポーツの集い



席のもと六四六名の
方々が集いました。
木原先生は、白の
皮ジャンパーに白の
シヨートパンツ、白
い靴の姿で車から降
りられました。テレ
ビで拝見している以
上に、スポーツマン
らしい健康的な美し
さに親しみを感じま
した。お話も、先生
が子供の頃、母親が
上手に接してくだ
さったおかげで才能
を伸ばすことができ
たこと、オリンピッ
ク選手時代の外国で
のさまざまなエピソード、何よりも人
との出会いの大切さ等、ユーモアた
つぷりの講演には、笑いの渦のな
か楽しいひと時を過ごしました。
一方、軽スポーツとしてのスト
レッチ体操も、三浦先生のお話と
実技に爽やかな汗を流しました。

身体を動き易い状態にし、傷害防
止のための準備運動、また、血行
を良くし疲労回復効果から整理体
操にと、とかく忘れがちですが大
切にしたいものです。
婦人スポーツの集いも回を重ね
今年八年目を迎えます。健康を
保つために今、何が必要か。ニー
ズにあった、魅力ある、喜ばれる
「集い」にしたいものである。
今年も多くの方に参加していただ
き、スポーツに親しむきっかけ
になれば幸いです。



第7回川越ウォークソン大会盛大に開催される

市制六十周年を記念して開催された「川越ウォークソン大会」も本年度第七回を迎え、十一月三日

(文化の日)川越市・川越市教育委員会・毎日新聞社・日本ウォークソン連盟の主催、川越市協・体指連協・陸協の各団体による主管で盛大に開催されました。

この大会は、人間の生活の中で最も基本的な動作である、「歩く」ことを正しく認識してもらうことにより、市民が健康で豊かな社会生活を営む基礎づくりを目的とし、「正しく・美しく・速く歩く」をテーマに、最高八十六才の



高齢者から乳児まで、市内・県内はもちろん関東各都県から和歌山県まで、外国人も米国・ヨーロッパ

パ・ニュージーランドに至るまで千九百九十五名の参加者により盛大に行われました。

当日は、澄みきった青空の下、川合市長のスタート合図で、20 km、5 kmの各コースに健康な汗をにじませながら、全員が無事完歩されました。

以下、20 km種目上位入賞者と各種目のスタイル賞受賞者を紹介します。

◎ 20 km男子 (四一名)

- 一位 堂前純一 2時間3分11秒
- 二位 鈴木基次 2時間3分22秒
- 三位 佐々木敏雄 2時間4分17秒
- 四位 大木義夫 2時間6分48秒
- 五位 松尾武幸 2時間7分38秒
- 六位 程原保雄 2時間11分9秒
- 七位 和田 浩 2時間12分2秒
- 八位 小野寺敏男 2時間13分3秒
- 九位 北村富弘 2時間15分25秒
- 十位 石原祐司 2時間17分17秒

△ スタイル賞

◎ 10 km男子 (一七二名)

- ・石川隆昭・綿貫哲夫・斉木六郎
- ・高橋正浩・伊藤 操・藤野忠男

◎ 10 km女子 (一〇四名)

- ・斉藤操・上野恭子・和田房子・

水品裕子・柴車えり子・国府田和恵
◎ 5 km 45 ~ 59 才男子 (五七名)
・小川清一郎・佐藤達夫・石塚賢次・衛藤正直・栗原忠一・関根好男

◎ 5 km 45 ~ 59 才女子 (八八名)

- ・山口敦子・山口智寿子・柳瀬タミ・岡田茂代・須田慶子・加藤利子



◎ 5 km 60 才以上男子 (五四名)

- ・野島佐吉・丸井豊一・篠原晃三・森 三郎・塚田武雄・配島照次

◎ 5 km 60 才以上女子 (四一名)

- ・志賀シズ・高瀬 公・中島きん・瀬戸信子・蛭沢よし・雲村栄子

◎ 小学 5 km 男子 (二六三名)

- ・村田 守・市川浩行・賛田高志・高井俊哉・月岡 賢・大友大介

◎ 小学 5 km 女子 (二七八名)
・長谷川牧子・吉成真希子・佐藤祐子・金子昌代・新井めぐみ・村松あかね



◎ 中学 10 km 男子 (二二〇名)

- ・長谷川渡・小沢一樹・佐藤弘章・木村卓郎・田辺浩幸・丹羽 匠

◎ 中学 10 km 女子 (六二名)

- ・太田淳子・垂水さおり・斉藤朱美・矢本美樹・田中涼子・樋口明子

◎ 親子 5 km (三三七組・七二五名)

- ・中田正夫・恵実・実千代親子
- ・松本勇・強士・みち子・ひとみ親子
- ・島崎利雄・かほる、みのる親子



○矢幅光子・奈穂子親子
○久津間弘・明子親子
○斉藤 登・由紀子親子

△ シルバー賞

男子 采沢 昊 (八十六才)

女子 大久保ルイ (七十八才)

本大会は、昨年より参加者数は下回ったが、幅広い年齢層にわたり、かつ外国人の参加もあり大変盛り上った大会であった。

市民の皆様のご協力並びに関係各役員の絶大なるご支援・ご協力の賜と厚く御礼申し上げます。今後益々素晴らしい大会になりますよう併せてお願い申し上げます。

「**場的運動公園**」・「**高階運動ひろば**」
五月オープン予定

川越市では、平成元年五月より二つの運動施設をオープンさせる予定とのこと。運動施設の増設を熱望しているスポーツ関係者としては朗報といえます。

以下施設概要をお知らせします。

一、**場的運動公園**

〈場所〉

霞ヶ関地区と大東地区を結ぶ八瀬大橋下の入間川河川敷。

〈施設概要〉

- ソフトボール場…三面
- 広場…二面

〈申込先〉

利用日の前月初日から、上戸運動公園管理諸所

(三二一六四〇二)

二、**高階運動ひろば**

〈場所〉

高階地区の旧大森製作所跡地 (砂七〇六)。

〈施設概要〉

- ソフトボール場…一面
- 広場…一面

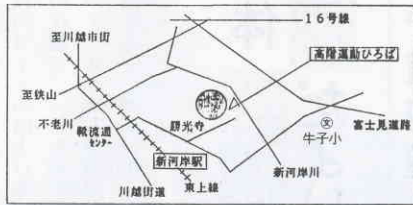
〈申込先〉

利用日の前月初日から、高階出張所(四二一〇六〇〇)

〈付帯施設・設備〉

○駐車場(十五台)・トイレ・水道・児童公園(隣接)

新設される運動施設



場的運動公園 ↑ 高階運動ひろば ↓

一、すすむ陸上競技場建設 (下老袋地区川越運動公園内)

体育協会の長年の夢であり、その進捗状況が注目されている川越運動公園のうち、陸上競技場の建設が進み、メインスタンドの基礎工事に取りかかっています。今後

は平成四年完成に向け、さらに建設に拍車がかかりそうです。



陸上競技場の施設については、

○日本陸連第二種公認(加盟協会陸上競技選手権大会、地域学生陸上競技選手権大会、地方における国際的競技会等の開催が可能)

○全天候型舗装

○メインスタンド(収容約四五〇〇人・事務室・放送室・医務室・トレーニング室・貴賓室・雨天走路等)

○盛土スタンド(収容約四〇〇〇人・外周ジョギング路三九〇m等)

となっております。

また、同公園内に建設予定である体育館、テニスコート、多目的広場については、その施設内容等について、運動公園建設委員会での検討中とのことです。

第41回 川越市民体育祭総合開会式

― 体育功労者・優秀選手表彰 ―

晴天に恵まれた十月十日体育の日、川越市市民体育館において第四十一回市民体育祭総合開会式並びに体育功労者及び優秀選手表彰式が開催されました。

市長・教育長はじめ来賓多数の臨席のもと、定刻十時に選手入場。昭和六十三年年度体育功労者及び優秀選手表彰式が行われました。

体育功労賞は、体育・スポーツの振興に著しく功績のあった方に贈られ、又優秀選手賞は小・中学生の県大会の優勝者及び関東大会以上の大会に出場した選手に、そして高校・大学・一般については全国大会以上の大会に出場した選手に贈られます。

今年度の体育功労賞は次の五名の方が受賞されました。

- 和田 昌男(五十才)
- 野球連盟
- 大野 明(四十二才)
- 軟式庭球連盟
- 島村 勇(四十一才)
- バスケットボール連盟
- 新井 鉄也(四十九才)
- 柔道連盟
- 阿川 英臣(四十六才)
- 剣道連盟

なお、新井鉄也氏は受賞後、間もなくの十月十五日に逝去されました。謹んでお悔み申し上げます。また、優秀選手賞は合計二四四名の選手が受賞されました。団体別受賞者数は次のとおりです。

- スポーツ少年団(五十五名)
- 卓球連盟(二名)
- 軟式庭球連盟(三名)
- バレーボール連盟(十二名)
- サッカー協会(二十一名)
- 柔道連盟(九名)
- スキー連盟(四名)
- スケート連盟(二十一名)
- 中体連(五十七名)
- 高体連(五十七名)
- ボウリング連盟(三名)



軟式庭球連盟

軟式庭球連盟は、創設五十三年を迎えます。戦前戦後と長期にわたり多くの愛好者に支えられ、又歴代役員にも卓越した技量と指導力を持った方々を得て、数多くの優秀プレーヤーを輩出してきました。特に近年は、国体・インターハイ等で活躍した星野女子高校の選手が、市内の企業に就職したことにより、一般女子のレベルが飛躍的に向上しています。又、男子もインターカレッジ入賞者の加入もあり、市内の大会でもハイレベルの試合が展開され、選手強化に大きな刺激となっています。

- 現在、二十九団体・七二五名の登録があります。年間行事も、
- 市選手権大会
- 実業団リーグ
- ママさん大会



・市民体育祭
を中心に八つの大会を開催し、更に強化練習会、初級者講習会、審判講習会も毎年実施しています。選手強化と初級者指導に力を注ぎ、組織の充実と競技の振興を図っています。

なお、大会開催にあたっては、企業・高校のコートの上げ等に四苦八苦の状態で、一日も早く運動公園内のテニスコートが完成するように、関係各位にお願いする次第です。

団体だより

空手道連盟

「エイ・トウー」、元気な声がかまっています。週一回、月曜・木曜が一般の部、土曜は少年の部が主体となつて汗を流しています。昭和三十四年、明信館道場に端を発し、四十二年に体育協会に加盟、五十一年に空手道連盟を結成、以来空手道の普及発展と共に、青少年の健全育成の一助にと、指導にあたってきました。今日に至るまで体育協会、並びに関係各位のお力添えに対しまして、お礼申し上げます。

主な行事としては、

- 昇級・段審査(定期に実施)
- 埼玉県大会
- 市民体育祭
- 夏季合宿
- 指導者講習会等

数多くの事業を行っています。なかでも少年の部の大会では、毎年全国大会に出場し、かなりの成果をあげています。

ストレスの多い現代社会、いま空手は最良のスポーツではないでしょうか。肉体と精神を鍛える空手、老若男女を問わず各自の体力に応じて練習しています。特に少年の部では、保護者の方から空手をはじめから「風邪をひかなくなつた」・「性格が明るくなつた」といわれます。

今後は、連盟の組織の充実・強化を図ると共に、青少年の健全育成に向けてより一層の精進をします。

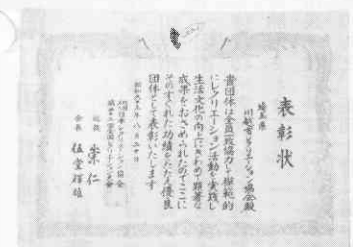


川越市レクリエーション協会

創立三十周年を迎えて 全国優良団体表彰を受ける

八月二十日から二十二日まで北海道・函館市で開催されました。第四十二回全国レクリエーション大会兼第一回全国スポーツ・レクリエーション祭において、昭和六十三年度レクリエーション優良団体として全国表彰を受けました。

大会は、日本レクリエーション協会総裁・三笠宮崇仁殿下のご臨席のもと、全国から六〇〇〇余名(本市から九名参加)のレクリエーション愛好者が参加。二十の優良団体、六名の功労者の表彰が行われました。大会式典後、日本レク協会の運動方針「生涯スポーツを考える」のテーマでシンポジウムが開催され、あらためてスポーツ・レクリエーション活動の重要性と任務の重大さを再認識しました。全国交歓の夕べ・種目別実践



活動・記念講演等が開催され、三日間の大会が終了しました。

なお、平成元年度に川越市レクリエーション協会は創立三十周年を迎えます。加盟六団体(民踊連盟・フォークダンス連盟・レクリエーションクラブ・インディアカ連盟・バウンドテニス川越・健康リズム体操クラブ)と共に気持ちも新たに飛躍の年にしたいと思います。

編集後記

本年度は、ソウルオリンピックが開催され、国内外を問わずスポーツに対する関心が高まりました。本市においても各種行事が数多く開催されました。今後も市民の健康・体力の保持増進に応えられるよう精進したいと思えます。おわりに寄稿いただいた各位に厚くお礼申し上げます。